

製品名: MNK2 (リン酸化 Thr244) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05808**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	MKNK2
別名	MAP kinase-interacting serine/threonine-protein kinase 2 (EC 2.7.11.1) (MAP kinase signal-integrating kinase 2) (MAPK signal-integrating kinase 2) (Mnk2)
遺伝子 ID	2872.0
SwissProt ID	Q9HBH9
免疫原	ヒト MNK2 由来の合成ペプチド (リン酸化 Thr244)

背景

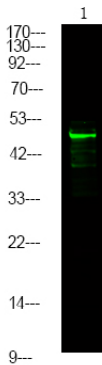
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: サブユニットあたり 1 つの亜鉛イオンと結合します。補因

子: マグネシウム。機能: 環境ストレスやサイトカインへの応答において役割を果たす可能性があります。EIF4Eをリン酸化することで転写を制御し、7-メチルグアノシンを含む mRNA キャップに対するこのタンパク質の親和性を高めます。PTM: Thr-244 と Thr-249 の二重リン酸化がキナーゼを活性化します。Thr-379 のリン酸化がキナーゼを活性化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: モノマー。EIF4G1 および EIF4G2 の C 末端領域と相互作用します。脱リン酸化 ERK1 および ERK2 にも結合する。アイソフォーム 2 は ESR2 と相互作用する。組織特異性: 検査した全ての組織において普遍的に発現する。アイソフォーム 2 はアイソフォーム 1 よりも卵巣で高いレベルで発現する。

研究分野

-

画像データ



マウス肝臓のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。